

2011年3月期

日本ユニシスグループ 事業概況資料
(2011年3月期上半期)

2010年11月2日

日本ユニシス株式会社

日本ユニシスグループ

マーケティング & ビジネス開発 & コンサルティング

- 日本ユニシス**
上流提案、コンサルティング、および広範囲なITサービスをコーディネート、提案
- ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ**
企業変革の構想策定からIT導入、改革の定着化まで広範なファシリテーション型コンサルティングを提供
- エヌユー知財フィナンシャルサービス**
企業評価に不可欠な企業の特許、技術評価に係わる情報提供を通じて、金融・企業調査機関のニーズに対応
- インテクストラ**
知的資産経営の実現に向けた戦略立案、事業強化等の意思決定に資する情報システムStraVision®の提供、コンサルティング
- エイファス**
金融機関の現場を知るプロフェッショナルによる、日本の金融業界に適したソリューションの提供

ネットワーク & サポートサービス

- ユニアデックス**
ネットワーク基盤構築・運用・保守、設備設計・工事など、幅広いICTサービスを、ベンダーを問わず高い顧客満足度で提供
- エス・アンド・アイ**
仮想化戦略を核にコンサルティングから設計、構築、運用、保守に至るICT基盤ソリューションを提供
- ネットマークス**
ユニファイド・コミュニケーション、情報セキュリティ、監視サービスを中心としたより高度なネットワーク活用の提案と構築

システムサービス

- USOLホールディングス**
USOL北海道
USOL東北
USOL東京
USOL中部
USOL関西
USOL中国
USOL九州
USOLベトナム
先進ITとお客様の企業戦略を結びつけ、高い技術と戦略構想力で、お客様に最適なソリューションを提供
- 日本ユニシス・エクセリユーションズ**
3次元CAD/CAMシステム、住宅CADシステム、ビジネスソリューションの開発・サービスを提供
- 国際システム**
沖縄県内外において、最新IT技術とノウハウを活かして地域に密着したサービスを展開
- G&Uシステムサービス**
大型のITフルアウトソーシングと、流通/製造分野のソリューション開発および適用のビジネスを展開
- ユニエイド**
流通小売業向けシステム、クレジットシステムの開発・運用・保守、および流通小売業へのソリューション適用

アウトソーシング & サプライ

- 日本ユニシス・サプライ**
IT関連印刷物の製造販売およびデータプリンティング業務の一括受託サービス、コンピュータサプライ用品の販売
- エイタス**
統合アウトソーシング・サービスを24時間・365日、高品質・高技術による高信頼性サービスで提供
- トレードビジョン**
商品先物業界を中心に、基幹業務のアウトソーシングを展開

グループサービス

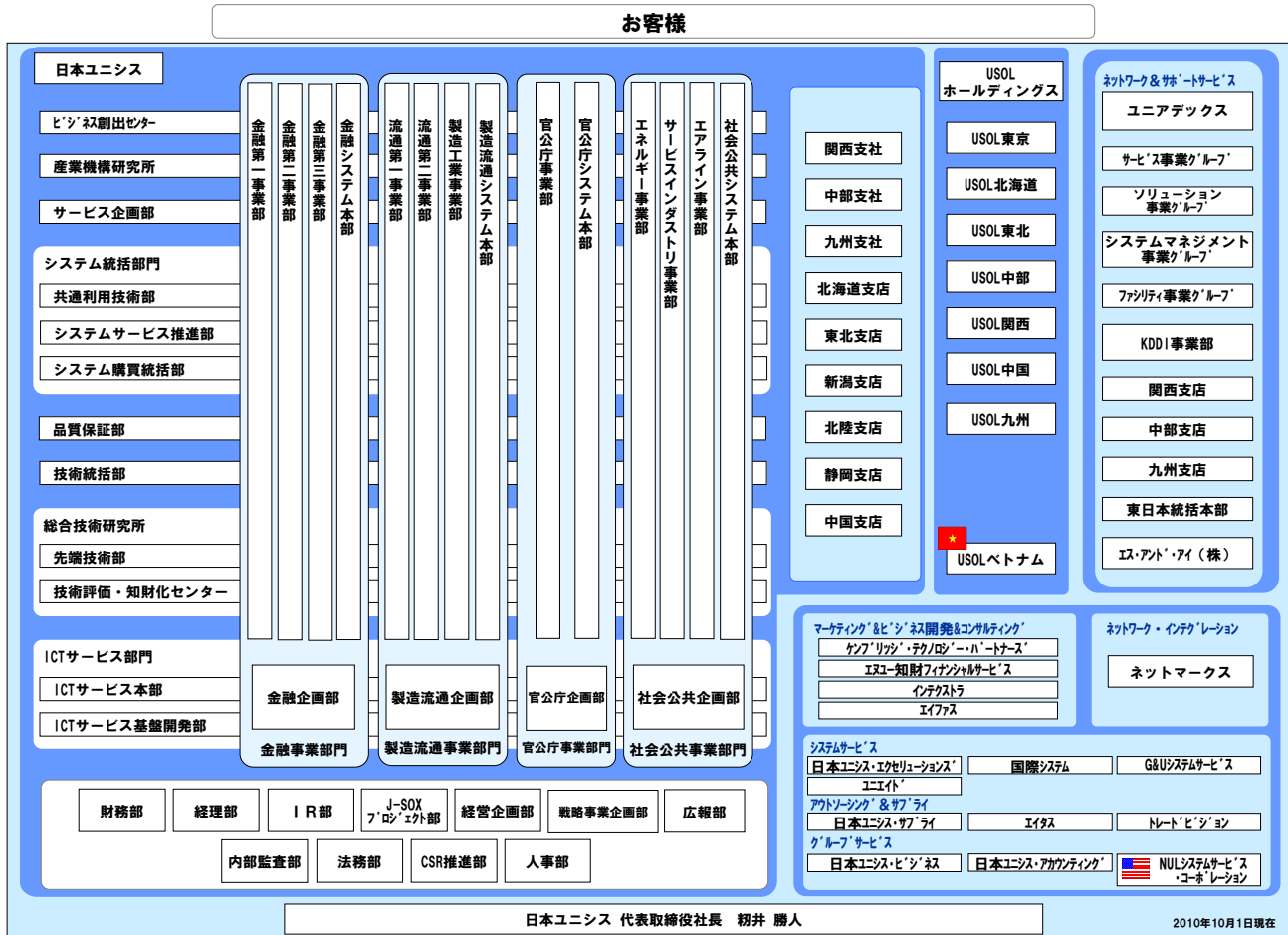
- 日本ユニシス・ビジネス**
グループ各社の共通業務および社員へのサービスを提供（購買・物流・総務・福利厚生・保険・旅行等）
- 日本ユニシス・アカウントティング**
グループ全体の経理専門企業として、高度なグループ経営、ディスクロージャの実現を目指す
- NULシステムサービス・コーポレーション**
米国内現地法人。主として米国ユニシスに対するソフトウェアの販売、サービスの提供



2010年9月末現在

All Rights Reserved. Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd

2010年度 日本ユニシスグループ体制図



金融分野(金融事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

メガバンク・信託

- ・資金証券系システム
- ・信託系ソリューション
- ・事務集中系など

地銀

- ・勤定系システム
- ・資金証券系システム
- ・国際系システム
- ・経営・顧客情報系システム
- ・事務集中系システムなど

証券・保険

- ・証券基幹系システム
- ・FX/商取基幹系システム
- ・保険金・給付金等の支払い
ワークフロー領域
- ・営業支援系など

信金・系統

- ・勤定系システム
- ・資金証券系システム
- ・国際系システム
- ・経営・顧客情報系システム
- ・事務集中系システムなど

共通ソリューション(IFRS※対応システム、電子記録債権システム)、ICTサービス(クラウド型、アウトソーシング型)

※IFRS(International Financial Reporting Standards):国際会計基準

2011年3月期上半期の主な取り組み

- 2010年 4月 中央三井アセット信託銀行がクラウド上で確定拠出年金管理システムを稼働
- 5月 Windows Server®、SQL Server®を基盤とした「新勤定系システム」が佐賀銀行、紀陽銀行で稼働 ~次世代オープン勤定系システム「BankVision®」を利用
- 6月 多摩信用金庫からリスク管理システムを受注
- 7月 北海道信金アウトソーシングセンターで「為替アウトソーシングサービス」稼働
信金アウトソーシングセンターが、ITサービスを提供するすべての組織に適用されるマネジメントシステムの国際規格である「ISO/IEC20000」認証を取得
- 9月 岡三情報システムと共同で次世代証券基幹系システム「ODIN」の販売・業務受託を開始
SaaS型 国内初の「手形管理システムサービス」を提供開始

All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

製造・流通分野(製造流通事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

製造

- ・製造業向けCAD/CAMシステム
- ・住宅業界向け3次元住宅設計システム
- ・購買・調達ソリューション
- ・開発プロジェクト支援システム

流通

- ・小売業向け本部ソリューション
- ・ダイレクトマーケティング(DM)業界向けソリューション
- ・アパレル統合ソリューション
- ・製菓業界向けソリューション ・リース業トータル・システム

サービスインテグレーションへの変革

・SI事業優先型からサービス事業誘導型へ ・ITとBPO※によるハイブリッドサービス ・マルチクラウド※におけるマネジメントサービス

※BPO(Business Process Outsourcing):ビジネスプロセス・アウトソーシング ※マルチクラウド:複数のクラウドサービスをつないで利用する形態のこと

2011年3月期上半期の主な取り組み

- 2010年 4月 BtoCビジネスの経営層向けにマーケティング戦略を評価・分析するリスト診断システム「ListDiag.®」を販売開始
日本ユニシス・エクセリョーションズ
含有化学物質管理システム「グリーン調達マイスター®」Ver.3.0を提供開始
ヤマダ電機、日本ユニシス
家電量販専門店業界初、iPhoneを使ったケイタイポイント会員サービスを開始
- 8月 日本ユニシス・エクセリョーションズ 業界初 住宅CADをクラウドで提供
~クラウド(SaaS)型の住宅設計3次元CADシステム「Net-DigiD™」を提供開始

All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

官公庁分野(官公庁事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

中央省庁

- ・職業安定行政システム
- ・雇用保険トータルシステム
- ・雇用均等行政情報システム
- ・総務省遠隔教育実証実験
- ・公共工事入札・契約適正化システム など
- ・労災行政情報管理システム
- ・労働保険適用徴収システム
- ・医薬品等FD申請システム
- ・工事管理支援システム

自治体

- ・住民情報系システム(住基、税、国保、福祉)
- ・総合文書管理システム
- ・上下水道料金システム
- ・バス運行管理システム など

ICTビジネス

- ・クラウド型住民情報系サービス
- ・クラウド型文書管理サービス
- ・クラウド型危機管理情報共有サービス(SAVEaid/セーブエイド)
- ・クラウド型電子図書館サービス(LIBEaid/ライブエイド)
- ・パブリッククラウド
- ・プライベートクラウド
- ・アウトソーシング

2011年3月期上半期の主な取り組み

2010年 6月 クラウド型電子図書館サービス「LIBEaid/ライブエイド™」を販売開始
～地域で電子書籍、デジタルコンテンツの活用を実現するICTサービス

クラウド型危機管理情報共有サービス「SAVEaid/セーブエイド®」

広島県 安芸太田町でサービス利用開始

～従来、個別システム構築が難しかった中小自治体の「防災クラウド導入事例」

7月 総務省から遠隔教育システム受注

8月 独立行政法人医薬品医療機器総合機構からハウジング案件受注

熊本市からクラウド型文書管理サービス(行政文書目録公開)を受注

All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

エネルギー・サービス分野(社会公共事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

電力・ガス

- ・【電力】営業/営配/経理/工事管理システム
- ・【ガス】営業/供給管管理システム
- ・【EV】EV充電インフラ (smart oasis®) など

航空・運輸

- ・【エアライン】国内旅客/国際国内貨物システム、国内旅行システム、航空機整備システム
- ・【鉄道】特急座席予約システム、顧客会員管理システム など

医療・旅行 他

- ・【医療・介護】電子カルテ/医事会計システム、介護業務支援システム
- ・【旅行】旅行基幹システム
- ・【テレコム】サービス申込受付/メルマガシステム など

サービスインテグレーションへの変革

- ・SI事業優先型からサービス事業誘導型へ
- ・ITとBPO※によるハイブリッドサービス
- ・マルチクラウド※におけるマネジメントサービス

※BPO(Business Process Outsourcing):ビジネスプロセス・アウトソーシング ※マルチクラウド:複数のクラウドサービスをつないで利用する形態のこと

2011年3月期上半期の主な取り組み

2010年 4月 東名高速道路で電気自動車向け「充電インフラ」の課金・決済サービスを提供開始

6月 日本ユニシス、佐賀大学 「医療の質」と「効率の質」の両立を目指し、国内初、新しいDPC管理会計システムをクラウド型サービスで提供開始

8月 電気自動車向け充電インフラビジネスでエネゲートと連携

9月 クラウド型「無事故プログラムDR®」サービスに、「アルコールチェッカーサービス」をオプションとして販売開始

All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

事業トピックス

金融分野

中央三井アセット信託銀行 クラウド基盤上で 確定拠出年金管理システムを稼働

日本ユニシスの次世代iDC(Internet Data Center)基盤上でのICTホスティングサービス(IaaS)による運用コストの低減、高堅牢性保証を評価。

- ICTホスティングサービス(IaaS)による運用コストの低廉化を実現。
- 日本ユニシスは、ITサービスを提供するすべての組織に適用されるマネジメントシステムの国際規格である「ISO/IEC20000」認証をクラウドサービスとして国内で初めて取得。高品質なサービスを提供。
- 日本ユニシスの実績ある確定拠出年金パッケージ「Benefit Keeper®」をベースに開発、顧客向けWebサービスの利便性向上を実現。

Windows Server®、SQL Server®を 基盤とした「新勘定系システム」が 紀陽銀行、佐賀銀行で稼働開始

- 日本ユニシスの次世代オープン勘定系システム **BankVision** を利用して、オープンシステムをベースとした「新勘定系システム」を開発し、2010年5月から稼働開始。
- 2007年5月に稼働した百五銀行、2009年1月に稼働した十八銀行、2010年1月に稼働した筑邦銀行に続いて4行目、5行目の「BankVision」稼働。
- システムの運用は、日本ユニシスが提供する共同アウトソーシングセンターに委託。



All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

事業トピックス

金融分野

北海道信金アウトソーシングセンターで 「為替アウトソーシングサービス」稼働

信用金庫のIT投資最適化と業務変革を支援する、新たな総合アウトソーシングサービスの第一弾。

- 北海道信金アウトソーシングセンター(北海道OSセンター)内に「事務集中センター」を開設し、為替振込におけるエントリー事務のアウトソーシングサービスを提供開始。
- 2010年4月から札幌信用金庫、室蘭信用金庫、8月から空知信用金庫の業務受託を開始。6月から旭川信用金庫にハウジングサービスを提供開始。

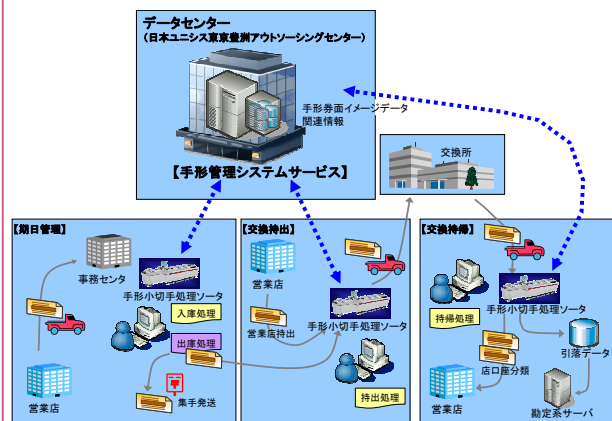
信金アウトソーシングセンター ITサービスマネジメントシステム 「ISO/IEC20000」取得

- 「北海道OSセンター」、「信金バンキングアウトソーシングセンター(SBOC東京センター)」において、ITサービスを提供するすべての組織に適用されるマネジメントシステムの国際規格「ISO/IEC20000」認証を取得。運営品質をさらに向上。

SaaS型 国内初の 「手形管理システムサービス」提供開始 第1号ユーザーとして信金中央金庫で採用

堅牢なデータセンター設備、安全なシステム基盤を利用しながら金融機関の事務コストを削減。

- 日本ユニシスの実績豊富なパッケージをベースとしたSaaS型サービス



All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

事業トピックス

製造・流通分野

ヤマダ電機、日本ユニシス、
家電量販専門店業界初、iPhoneを使った
ケイタイポイント会員サービスを開始
 iPhoneで「YAMADAモバイル」が利用可能に

- iPhoneと連動したポイント会員システムを構築・運営。2010年4月よりサービス開始。
 - 7月よりGoogle®のOS「Android®」搭載のスマートフォンにも対応。
 - 利用者は、iPhoneやAndroidスマートフォンを使って全国47都道府県にあるヤマダ電機の店舗でポイント入手・活用でき、会員向けの便利なサービス情報などを受け取ることが可能。
- ・モバイルサイトおよびメルマガにてお得な情報を告知し、来店を促進



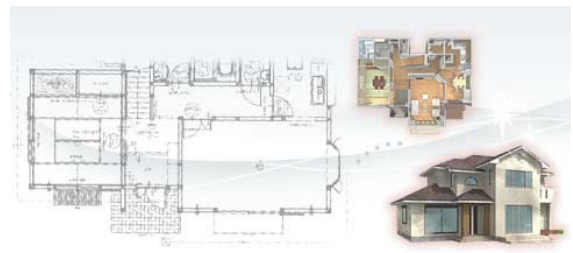
来店促進



・ポイント
 ・お得情報
 etc..

日本ユニシス・エクセリーションズ
業界初 住宅CADを
クラウドで提供開始

- インターネット配信によるSaaS型3次元CAD「Net-DigiD™ (ネット-デジド)」により、中小工務店や設計事務所など住宅業業務効率アップを最小限のコストで実現。
- これまでデータ量などの関係からインターネットによる配信は難しいとされていた住宅設計3次元CADシステムを、日本ユニシスのICTホスティングサービスやSaaSプラットフォーム・サービスを活用することで、初めてSaaS化。



All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

事業トピックス

官公庁分野

地域で活用する クラウド型電子図書館サービス『LIBEaid/ライブエイド™』
地域で電子書籍、デジタルコンテンツの活用を実現

- 「LIBEaid」は、電子書籍などのデジタルコンテンツを実物の本と同じように貸し出せる電子図書館を、インターネット上に開設できるサービス。
- 行政機関や学校、企業は、それぞれの目的に合わせたデジタルコンテンツを利用者(市民、児童、顧客など)に貸し出すことが可能に。
- 利用者は、自宅や学校などのPCから欲しいコンテンツを検索し、その場でコンテンツにアクセスして無料で閲覧が可能。

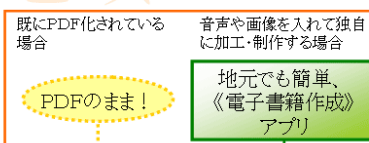
- ◆ 電子書籍を保護するDRM(暗号化)機能
- ◆ 地域の情報発信を支援するフープロ感覚の電子書籍作成ツール
- ◆ 低コストでメンテナンスも簡単なクラウド型サービス
- ◆ 地域での電子書籍共同利用

電子書籍ビューワ



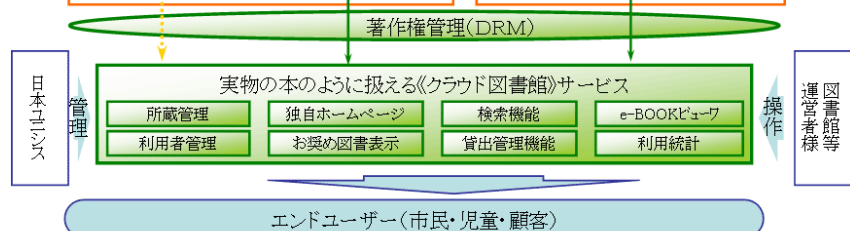
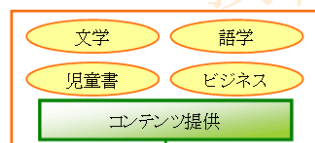
【地域の知財をデジタル化し活用する!】

今あるものを活用するなど、簡単にデジタルコンテンツが提供できます。



【商用コンテンツを活用する!】

ビジネス書、マンガ、文学、児童書等多彩なジャンルを提供します。(現在約600タイトル)



All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

事業トピックス

社会公共分野



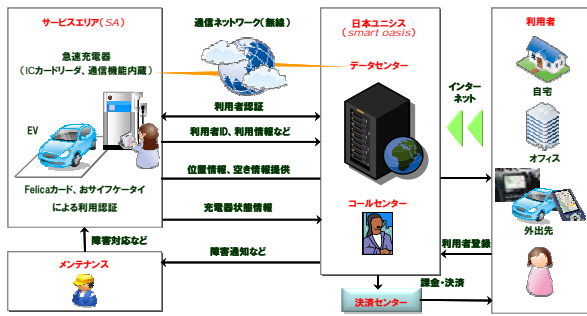
充電インフラシステムサービス「smart oasis®」 東名高速道路で 「電気自動車用急速充電システム」の 課金・決済サービスを開始

東名高速道路の海老名(えびな)サービスエリア(SA)上下線と上郷(かみごう)SA上下線の計4カ所で運用開始

東名高速道路に設置された急速充電器の**利用者認証**や**充電サービス管理**に加えて、**充電サービス利用料の課金・決済サービス**、**ユーザーサポートサービス**などを提供。

- 充電サービス利用料の課金・決済（日本初、有料サービスを実現）
- 通信機能を内蔵した急速充電器を用いたICTシステム
- コールセンターによる24時間365日のユーザーサポート

急速充電システムのビジネスフローを「smart oasis」で一元的に管理し、サービス提供

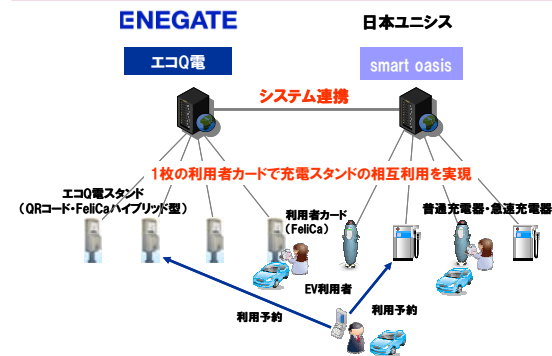


充電インフラシステムサービス「smart oasis®」 充電インフラビジネスで エネゲート社と連携

2010年12月より、大阪、京都など関西エリアへの展開を始めとし、全国への展開を開始

エネゲート社が開発・展開する電気自動車向け給電システム「**エコQ電®**」と「**smart oasis**」との**システム連携**し、両社共同でのサービス拡充と販売展開

- 両社のシステム連携により、1枚の利用者カードで充電スタンドの相互利用を実現
- 予約や課金・決済など、共同で多様なサービスを拡充
- 関西エリアを始めとした全国への共同展開



All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

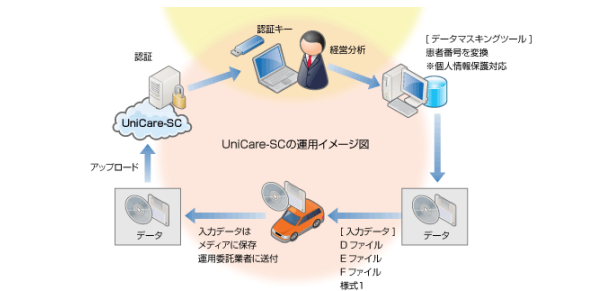
事業トピックス

社会公共分野

病院経営改善ツール「UniCare®-SC」 DPC管理会計クラウドサービス

※UniCare-SCは、国立大学法人佐賀大学との共同研究

- UniCare-SCは、1円単位の原価を分析することなく、**医療の質と経営の質を分析**する、医療現場で生まれたDPC病院向け経営改善ツール。
- システムを所有することなく、システム導入時の初期費用は不要で、**月額利用料のみ**で利用可能。



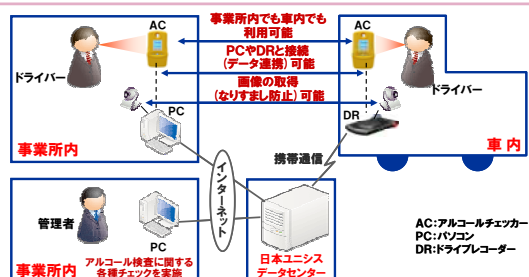
対出来高比較では、経営状態の良い診療科を悪い診療科と評価してしまうことも……。 在院日数や医療資源を試算することで、目指すべき医療の質と経済性の検証が簡単にできる。



安全運転・エコ運転意識向上支援サービス 「無事故プログラムDR®」

アルコールチェッカーサービス

- 携帯型のアルコールチェッカーを利用し、事業所内や車内での**飲酒検査を簡単に実施可能**。
- アルコールチェッカーをPCやドライブレコーダーと連携させ、**飲酒検査を含む点呼記録の自動化**や検査画像の取得による**なりすまし防止**も可能に。
- **3つのメニュー**
 - (1) アルコールチェッカー(AC)単体提供サービス
携帯型ACを単体で提供。事業所内・車内と場所を選ばず、アルコールの検査が実施可能。
 - (2) IT連携サービス
携帯型ACをPCやドライブレコーダー(DR)*に接続し、アルコール検査結果を自動的に当社データセンターへ送信・保存。センターでは、検査履歴や点呼情報の管理、点呼帳票なども提供。
 - (3) なりすまし防止サービス
PCのWebカメラやDRの車載カメラにて、アルコール検査時の画像を撮影。事務所内や車内で運転手1人でアルコール検査を実施する際になりすましをチェックすることが可能。*当社からの提供のドライブレコーダーと接続が前提



All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

ICTサービス(ICTサービス事業部門)



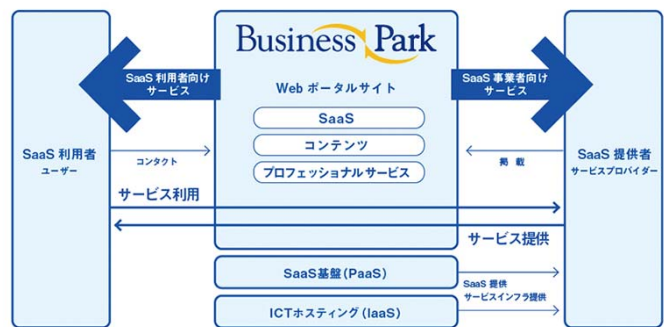
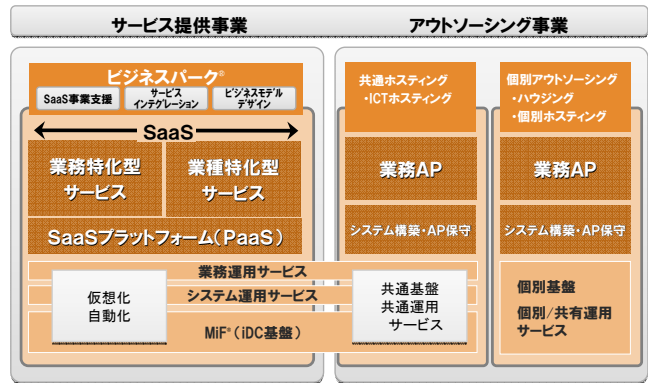
ICTサービス事業の推進

体制の強化

2009年4月 「ICTサービス部門」新設
 2008年4月発足の「ICTサービス本部」と
 新設の「ICTサービス基盤開発部」を配置

主な取り組み (2011年3月期上半期)

- 2010年4月 中央三井アセット信託銀行がクラウド基盤上で、確定拠出年金管理システムを稼働
 日本ユニシス、ジョルダンクラウド/SaaS分野で協業開始
- 5月 国内初、SaaS提供者による組織化した「製造業支援SaaS普及協会」設立
 日本ユニシス、インフォコム、インフォベッククラウド型ERPソリューション分野で協業
 ICTホスティングサービス (IaaS) 利用のお客さま向け新サービス提供開始
 「セキュリティソリューション/統合監視ソリューション」をラインアップ
- 6月 IaaSサービスに新ラインアップ
 「ICTファイル共有サービス」と「ストレージクラウドサービス」の提供開始
 SaaS型 教育プラットフォーム「LearningCast®」アップデート3提供開始
- 9月 首都直下型地震を想定したクラウドサービスのディザスタリカバリー訓練を実施

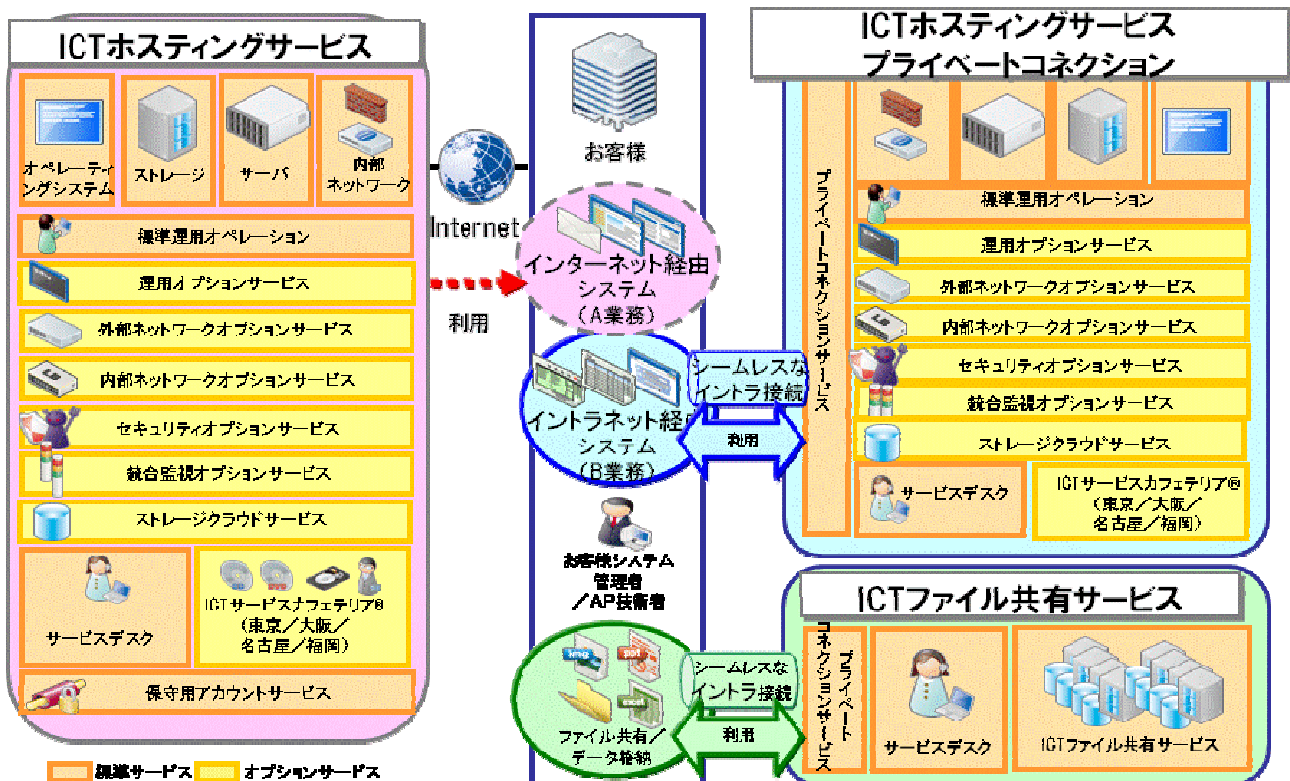


All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

ICTサービス トピックス



ICTホスティングサービス(IaaS)の全体像



All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd

laaSサービスに新ラインアップ 「ICTファイル共有サービス」と「ストレージクラウドサービス」

- **「ICTファイル共有サービス」**
お客様の**イントラネットの延長**としてストレージが利用可能。ストレージのみを利用したいという要望に応じた新しいサービス。独自のネットワーク技術で駆使し、お客様**指定のIPアドレス設定とネットワークアドレス変換(NAT)のない接続が可能**であり、Active Directory®などで社内システム認証を実施しているお客様も、イントラネットの延長としてストレージの利用が可能。
- **「ストレージクラウドサービス」**
laaSレイヤ(層)への新たな付加サービスとして、**多用途ストレージとデータストア(データ保管)サービス**を提供。3種の多用途ストレージ(大容量ストレージ、高速ストレージ、書き換え防止ストレージ)と4種のデータストアサービス(iDC内データストアサービス、iDC間リモートデータストアサービス、iDC内秘密分散データストアサービス、iDC間秘密分散データストアサービス)を提供。

日本ユニシス laaSサービス 全体図

メインサービス

ICTホスティングサービス

インターネットシステムで使いたい

- ICTホスティングサービス
標準的なオンデマンドホスティングサービスです。
- ICTホスティングサービス LE(Light Edition)
機能などを絞り、よりご利用いただきやすい価格設定としたサービスです。
- ICTホスティングサービス CT(Count By Times)
ごく短期間のご利用に最適な時間単位での従量課金制サービスです。

プライベートIPアドレスでイントラネットシステムとして使いたい

- ICTホスティングサービス プライベートコネクション
プライベートなホスティング環境をオンデマンドで提供するサービスです。

ストレージだけを使いたい

ICTファイル共有サービス

お客様のイントラネット上のストレージとして利用可能。

付加サービス

セキュリティ対策を強化したい

セキュリティソリューション for ICTホスティングサービス

各業種・業界のガイドラインに対応したICTサービス用の情報セキュリティポリシーに沿って、お客様が用意されるOSやアプリケーションのセキュリティ対策を実施。

運用管理を効率化したい

総合監視ツール for ICTホスティングサービス

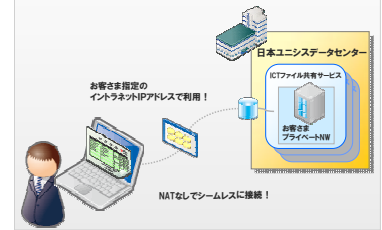
iDC上のサーバに監視エージェントを導入し、24時間365日、稼働監視を行う。異常検知時は、速やかにお客様に通知。

機密性の高いデータの保存や大量のデータ処理にしたい

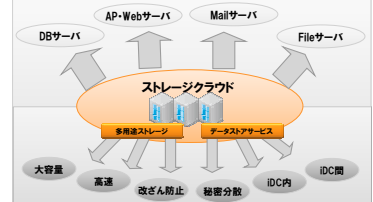
ストレージクラウドサービス

ニーズに合わせて選択可能な『多用途ストレージ』とデータ保管に利用可能な『データストアサービス』を提供。

「ICTファイル共有サービス」
お客様のイントラネット上のストレージとして利用可能



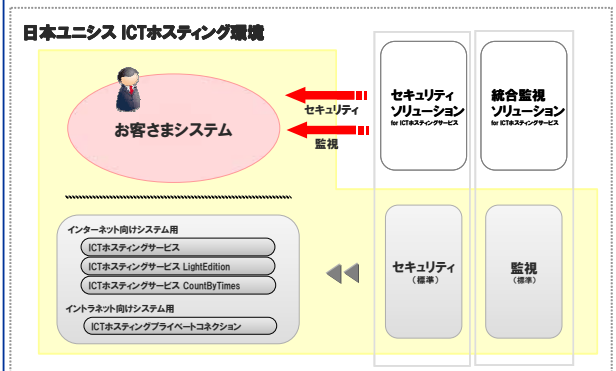
「ストレージクラウドサービス」
ニーズに合わせて選択可能な『多用途ストレージ』とデータ保管に利用可能な『データストアサービス』を提供



All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd

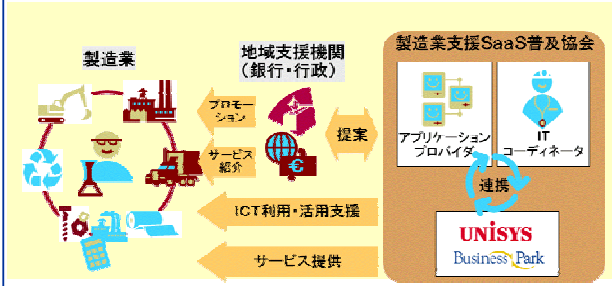
laaSサービス利用のお客様向け新サービス 「セキュリティソリューション」と 「統合監視ソリューション」をラインアップ お客様システムに対するセキュリティ強化と稼働監視機能の提供を実現

- laaSサービスは、その上に構築されるお客様システムに対するセキュリティ確保や稼働監視による可用性の確保は、お客様が調達している。
- お客様のニーズから、これまでお客様自身が調達していた**セキュリティや統合監視の機能を利用型サービス**で提供。
- お客様は、**調達、構築、運用の負荷が軽減**し、導入期間も短縮できます。



国内初 SaaS提供者による組織化した 「製造業支援SaaS普及協会」設立 製造業ユーザーへ、優れたソリューションを提供

- 2010年5月、製造業へのソリューションを持つSaaSソリューションベンダー7社と**製造業支援SaaS普及協会**(SaaS Consortium for Manufacturing Industry、略称:SCMI)を設立。
- 優れたソリューションの提供によって、**製造業のIT化を推進させ経営の効率化**を図ることが目的。
- SCMIは、日本ユニシスが事務局となり、参加するベンダーを会員として組織し、会員は日本ユニシスの提供するiDC基盤の上で、**SaaSソリューションをユーザーに提供**。
- 各地域にある中小企業を支援する機関とも情報を交換し、製造業ユーザーを対象としたセミナーなどの**啓蒙活動を継続**して推進。
- 導入を検討開始するユーザーには**ITコーディネータも参画**してサポート。



All Rights Reserved.Copyright © 2010 Nihon Unisys, Ltd (敬称略)

U&U

Users & Unisys

UNISYS

- ※AtlasBase、BankVision、ICTサービスカフェテリア、LearningCast、LIBEaid/ライブエイド、ListDiag.、Maris、MIDMOST、MiF、Net-DigiD、SAVEaid/セーブエイド、smart oasis、UniCare、ビジネスパーク/BusinessPark、無事故プログラムDRは、日本ユニシス株式会社の商標または登録商標です。
- ※グリーン調達マイスターは、日本ユニシス・エクセリションズ株式会社の登録商標です。
- ※NUIFS/エヌユーアイエフエスは、エヌユー知財フィナンシャルサービス株式会社の登録商標です。
- ※ODIN(オーディン)は岡三情報システム株式会社が商標登録申請の手続き中であり、今後名称が変更となる可能性もあります。
- ※Benefit Keeperは、SBIベネフィット・システムズ株式会社の登録商標です。
- ※iPhoneはApple Inc.の商標です。
- ※iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ※Google、Androidはグーグル インコーポレイテッドの登録商標です。
- ※エコQ電は、株式会社エネゲートの登録商標です。
- ※UniCare-SCは、国立大学法人佐賀大学との共同研究です。
- ※UniCare-SCについて記載の説明文言及び説明図の著作権は、国立大学法人佐賀大学及び日本ユニシス株式会社に帰属します。
- ※GRANDITは、インフォベック株式会社の登録商標です。
- ※Microsoft、Windows、Windows Server、SQL Server、Active Directoryは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- ※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

2011年3月期 上半期の主なニュースリリース



ICTサービス

BankVision : 次世代オープン勘定系システム

/mart oasi : 充電インフラシステムサービス

日本ユニシス株式会社

発表日	内 容
1 4月5日	<p>BtoCビジネスの経営層向けにマーケティング戦略を評価・分析するリスト診断システム「ListDiag. ®」を販売開始</p> <p>～ 新しい手法で顧客視点のマーケティング戦略立案を支援。サービス型でも提供 ～</p> <p>日本ユニシスは、通信販売、ネット販売、店舗小売、旅行業などBtoCビジネスの経営層向けに、現状のマーケティング戦略を診断、評価、分析し、より効果的なマーケティング戦略の立案を支援するリスト診断システム「ListDiag.」を販売開始します。日本ユニシスは1980年代後半よりダイレクトマーケティングを中心としたBtoCビジネス向けのソリューションを、時代の要請に合わせて開発し、多くの企業へ提供しています。近年、SNS、ブログ、Twitterなど消費者発信型メディアの広がりや、メーカー、既存小売業などの新規参入によりBtoC市場が着実に拡大する一方、消費者の節約志向や商品選別意識が高まる中で、当社は、これまで培った顧客分析、データマイニング、受注予測などの技術、ノウハウと、パイロットユーザー企業における検証結果を元に、BtoCビジネスを支援する新たな情報系ソリューションとして、リスト診断システム「ListDiag.」を開発しました。</p>
2 4月12日	<p>ユニアデックス Cisco Unified Computing Systemを採用し、プライベートクラウド構築サービスを提供開始</p> <p>～ 技術系総合人材サービス企業から、数百台規模のクライアント仮想化案件を初受注 ～</p> <p>ユニアデックスは、シスコシステムズの次世代データセンター向け高性能サーバーコンピューティング製品「Cisco Unified Computing System」を採用し、企業のコスト削減と大規模 ICT 基盤の実現を両立させる「プライベートクラウド構築サービス」を、4月13日から提供開始します。Cisco UCSは、ブレードサーバーやネットワーク、ストレージ、仮想化技術を統合することで、企業のデータセンターを一つのシステムとして管理可能にする製品です。企業の総所有コストを削減して経営スピードを高めるように設計されています。Cisco UCSを導入することにより、ユーザーは仮想化で懸念される問題のほとんどを解決できるため、データセンターリソースの有効利用と大規模なサービス提供が可能になります。またセットアップ・管理・電力・冷却・ケーブル接続のためのデバイス数を大幅に削減できます。</p>
3 4月13日	<p>日本ユニシス・エクセリューションズ 含有化学物質管理システム「グリーン調達マイスター®」Ver.3.0を提供開始</p> <p>～ 機能強化により含有化学物質管理業務の効率化を実現 ～</p> <p>日本ユニシス・エクセリューションズは、含有化学物質管理システム「グリーン調達マイスター」Ver.3.0を4月22日から提供開始します。本システムは、製品や部品に含有される化学物質情報の管理、および調査依頼や調査回答作業といったサプライチェーン間コミュニケーションの支援を目的に設計・開発され、これまでにRoHS対応を目的としJGPSSI Ver.3.0対応版の提供や、REACHへの対応を行うためJAMAシート、AIS、MSDSplus、JGPSSI Ver.4.0などへの対応を進めてきました。2008年から本格的リリースを開始し、現在150ライセンスを出荷しています。「グリーン調達マイスター」Ver.3.0では、化学物質逆引検索、部品表逆展開、メール連携機能を新規に提供開始します。本機能により、ユーザーは含有化学物質の管理業務をより効率よく行うことが可能となります。またユーザー数の多い企業においても採用しやすいクライアントの自動配布機能を実装しました。</p>
4 4月14日	<p>中央三井アセット信託銀行がクラウド基盤上で確定拠出年金管理システムを稼働</p> <p>～ 日本ユニシスiDCでのICTホスティングによる運用コストの低減、高堅牢性保証を評価 ～</p> <p>日本ユニシスは、中央三井アセット信託銀行から確定拠出年金管理システムの開発を受託し、このたび日本ユニシスのiDC (Internet Data Center) でのICTホスティングサービスを利用して稼働を開始しました。中央三井アセット信託銀行が、日本ユニシスのICTホスティングサービスへの移行を決定した主な要因は、1. 最新技術によるiDC基盤MiF®の採用/ICTホスティングサービスによる運用コストの低廉化を実現 2. 国内初、クラウドサービスとしてISO/IEC20000を取得、高品質なサービスを提供 3. 日本ユニシスの確定拠出年金パッケージ「Benefit Keeper®」を採用、です。</p>
5 4月15日	<p>ヤマダ電機、日本ユニシス、家電量販専門店業界初、iPhoneを使ったケイタイポイント会員サービスを開始</p> <p>～ 今流行のiPhoneで「YAMADAモバイル」が利用可能に ～</p> <p>ヤマダ電機と日本ユニシスは、「ヤマダポイントカード」を利用されるお客様に対する利便性をさらに高めるため、iPhoneと連動したポイント会員システムを共同開発し、4月15日よりサービスを開始します。iPhoneを使ったポイント会員システムは国内家電量販専門店業界初となります。利用者は、従来のリライト形式の会員カードに代わり、iPhoneを使って、全国47都道府県どこにでもあるヤマダ電機の店舗でポイントを手入・活用でき、また会員向けの便利なサービス情報などを受け取ることができます。</p>
6 4月19日	<p>クラウドサービス時代のアプリケーション開発を支える「MIDMOST® for .NET Maris®」を提供開始</p> <p>～ システム開発の生産性と品質向上を実現 ～</p> <p>日本ユニシスは、システム開発の生産性と品質を向上させる「MIDMOST for .NET Maris」を提供開始します。当社は2002年にマイクロソフトが.NET Frameworkを公開した当初から、先駆者として.NET開発専門組織を立ち上げ、200社を超える.NET Frameworkを活用した信頼性の高いシステムを構築してきました。これらの開発実績で蓄積されたノウハウをアーキテクチャと開発プロセスの両面から体系化した開発方法「LUCINA for .NET」や、.NET対応のアプリケーションフレームワーク製品MIDMOST for .NETなど、システム開発のための知財を開発してきました。「Maris」は、今までの.NET開発知財を、.NETシステム開発の統合フレームワーク製品として統合・発展させたものとなります。日本ユニシスは、今後も「Maris」を活用することで、.NETアプリケーション開発の生産性を向上させ、お客さまへ高品質なシステムインテグレーションサービスを提供します。</p>

発表日		内 容
7	4月21日	東名高速道路で電気自動車向け「充電インフラ」の課金・決済サービスを提供開始
		<p>～ EVの普及に不可欠な「充電インフラ」の整備を推進 ～</p> <p>日本ユニシスは、NEXCO中日本と高速道路関連社会貢献協議会が共同で4月28日から運用開始する、東名高速道路における「電気自動車用急速充電システム」への課金・決済サービスの提供を開始します。この電気自動車向け急速充電システムの利用者への課金・決済を行う運用サービスは、日本初の事例となります。「電気自動車用急速充電システム」は、低炭素社会の実現を目指し、電気自動車の普及促進に資するため、高速道路における電気自動車の利用環境の整備を目的に、NEXCO中日本が、高速道路関連社会貢献協議会の支援を得て、日本ユニシスと共同で提供するものです。本システムは、東名高速道路の海老名SA上下線と上郷SA上下線の計4ヵ所で運用が開始されます。日本ユニシスは、充電インフラシステムサービス「smart oasis」で、東名高速道路に設置された急速充電器の利用者認証や充電サービス管理に加えて、充電サービス利用料の課金・決済サービス、ユーザーサポートサービスなどの提供を行い、「電気自動車用急速充電システム」運用の役割を担います。</p>
8	4月22日	ユニアデックス、日本ユニシス SaaS型オンラインストレージサービス「AirTriQ®」に低料金大容量プランと新機能を追加
		<p>ユニアデックスと日本ユニシスは、当グループが提供するクラウドサービスを基盤としたオンラインストレージサービス AirTriQ®の新メニューとして、「大容量プラン」を業界最安レベルの料金で、4月25日から提供を開始します。また併せて「期限付きダウンロード機能」と「特定メンバー間ファイル共有機能」を標準機能として提供します。AirTriQは、単にデータを保管するバックアップ型とは異なり、インターネット上でデータを保管・共有し、利用者相互がデータ交換を安全かつ快適に授受できるSaaS型オンラインストレージサービスです。今回新たに提供開始する「大容量プラン」は、従来の基本プラン10GBを超える利用ニーズから一挙に容量を100GBへ大幅拡張したもので、初期コスト、ランニングコスト、運用コストの抑制が可能です。また利用ユーザー数は無制限としており、さらにストレージ容量の拡張もオプションで可能です。一方、今回新たに標準機能として「期限付きダウンロード機能」と「特定メンバー間ファイル共有機能」を提供開始します。</p>
9	5月6日	Windows Server®、SQL Server®を基盤とした「新勘定系システム」が佐賀銀行で稼働開始
		<p>日本ユニシスと佐賀銀行は、「BankVision®」を利用して、オープンシステムをベースとした「新勘定系システム」を開発し、2010年5月5日から稼働を開始しました。新勘定系システムは、佐賀銀行と十八銀行、筑邦銀行の3行による国内勘定系システムの共同開発に関する合意に基づき、2005年7月から導入準備を開始し、現在に至るまで共同開発を実施、このたびの佐賀銀行の稼働で3行全ての稼働が実現しました。システムの運用は、日本ユニシスが提供する共同アウトソーシングセンターに委託します。</p>
10	5月6日	Windows Server®、SQL Server®を基盤とした「新勘定系システム」が紀陽銀行で稼働開始
		<p>日本ユニシスと紀陽銀行は、「BankVision®」を利用して、オープンシステムをベースとした「新勘定系システム」を開発し、2010年5月4日から稼働を開始しました。本新勘定系システムは、2005年11月紀陽銀行と日本ユニシス間でBankVision採用の基本合意に基づき、2007年10月から導入準備を開始し、このたびの稼働が実現しました。また、本新勘定系システムは、マイクロソフト社のWindows Server 2008/SQL Server 2008を利用しており、「BankVision」として最新のインフラの採用となります。システムの運用は、日本ユニシスが提供する共同アウトソーシングセンターに委託します。</p>
11	5月17日	日本ユニシス実業団バドミントン部 潮田玲子選手女子チーム加入
		<p>日本ユニシス実業団バドミントン部女子チームに、5月16日付にて潮田玲子選手が加入しました。潮田選手は、混合ダブルスとして当社男子チームの池田信太郎とのペアで引き続き活動を行うほか、2007年創設、2008年に本格スタートした当社女子チームの一員として、10月10日に開幕する「日本リーグ2010」の団体戦にも参戦する予定です。</p>
12	5月19日	国内初、SaaS提供者による組織化した「製造業支援SaaS普及協会」設立
		<p>～ 製造業ユーザーへ、優れたソリューションを提供 ～</p> <p>日本ユニシスは、このたび製造業へのソリューションを持つSaaSソリューションベンダー7社と「製造業支援SaaS普及協会、略称:SCMI」を設立、優れたソリューションの提供によって、製造業のIT化を推進させ経営の効率化を図ります。SCMIは、日本ユニシスが事務局となり、参加するベンダーを会員として組織し、会員は日本ユニシスの提供するiDC基盤の上で、SaaSソリューションをユーザーに提供します。各地域にある中小企業を支援する機関とも情報を交換しながら、製造業ユーザーを対象としたセミナーなどの啓蒙活動を継続して推進し、導入を検討開始するユーザーにはITコーディネータも参画してサポートします。当面は首都圏の中小企業を対象にユーザーを取りまとめ、この夏をめどに第1回セミナーを開催する予定です。</p>
13	5月25日	日本ユニシス、インフォコム、インフォベック クラウド型ERPソリューション分野で協業
		<p>～ 「GRANDIT® for Cloud」をクラウド型サービスとして販売開始 ～</p> <p>日本ユニシスとインフォコムとインフォベックは、インフォベックのERPパッケージ「GRANDIT®」をベースにインフォコムがクラウド型へサービス化した「GRANDIT® for Cloud」の提供で協業を開始し、日本ユニシスが保有するICTホスティング環境と連携したサービスを本日から販売開始します。この協業により「GRANDIT」をベースとする「GRANDIT for Cloud」を利用型サービスでお客さまに提供します。「GRANDIT for Cloud」は、特に商社、卸売業、情報通信、サービス業などの業種に特化した機能を実装しており、業種別の標準業務フローに基づいたテンプレートを設定しています。お客さまは日本ユニシスのICTホスティングサービス環境を利用することで、今までのような基幹業務システムを自社で保有し導入する場合に比べ、短時間で基幹業務システムの利用を開始できるとともに、初期費用や保守・管理費用の総額が、自社保有する場合と比較して、約35%削減できます。</p>

発表日		内 容
14	5月26日	<p>日本ユニシス実業団バドミントン部 混合ダブルス 池田信太郎・潮田玲子組 潮田選手加入後初参戦の「2010年日本ランキングサーキット大会」で初優勝</p> <p>日本ユニシス実業団バドミントン部混合ダブルス 池田信太郎・潮田玲子組が「2010年日本ランキングサーキット大会」において優勝しました。ランキングサーキットは、日本ランキングの上位32ペアが出場可能となる大会ですが、混合ダブルス種目はオリンピックでのメダル獲得を視野に入れた強化策として、今年から新設されました。池田・潮田組は、初戦から準決勝まで1ゲームも落とすことなく決勝進出。同チーム対決となった小宮山元・浅原さゆり組との決勝戦でも2-0のストレートで勝利し、潮田選手の日本ユニシスチーム加入後初参戦の大会において初優勝を果たしました。</p>
15	5月27日	<p>ICTホスティングサービス(IaaS)利用のお客さま向け新サービス提供開始 「セキュリティソリューション／統合監視ソリューション」をラインアップ</p> <p>～ お客さまシステムに対するセキュリティ強化と稼働監視機能の提供を実現 ～</p> <p>日本ユニシスは、ICTホスティングサービス(IaaS)を利用のお客さま向けの新サービス「セキュリティソリューション for ICTホスティングサービス」と「統合監視ソリューション for ICTホスティングサービス」の提供を本日から開始します。両サービスは、日本ユニシスのICTホスティングサービス上に構築される、お客さまシステムに対するセキュリティ強化と稼働監視機能の提供を実現するものです。ICTホスティングサービスは、IaaSレイヤ(層)のクラウドサービスであり、その上に構築されるお客さまシステムに対するセキュリティ確保や稼働監視による可用性の確保は、お客さまの責任範囲となります。この度提供開始する両サービスは、これまでお客さま自身が調達していた機能を当社の利用型サービスで提供するものです。これにより、お客さまは、調達、構築、運用の負荷が軽減し、導入期間も短縮できます。</p>
16	5月31日	<p>ユニアデックス 国内初、セキュリティのオールインワンパッケージを販売開始</p> <p>～ 電子商取引業者、通信事業者などのセキュアな大規模ネットワーク運用を効率化 ～</p> <p>ユニアデックスは、高速スイッチやファイアウォール、ゲートウエイなどのネットワークセキュリティ機能をひとつの筐体に包含した、国内初のセキュリティのオールインワンパッケージ「クロスビームXシリーズ」を、6月1日から提供開始します。「クロスビームXシリーズ」は、通常サーバーとは別の機能として用意されるファイアウォールやコンテンツゲートウエイ、侵入防止システム、スイッチ、ロードバランサーなどのアプリケーションを、仮想化技術を使って1つの筐体に包含した国内初のセキュリティのオールインワンパッケージです。1つの筐体に包含することで、従来、ネットワークの複雑化に伴って増えがちだった手間やコストが大幅に削減されます。アプリケーション数が削減されるため、消費電力やCO2排出量の削減にも有効です。また、モジュール毎の冗長化を筐体内部で実施しており、可用性にも優れています。最大40Gbpsの高速処理も可能です。</p>
17	6月2日	<p>日本ユニシスと京セラコミュニケーションシステム 変更管理ソリューション「Tripwire®」の販売で協業</p> <p>日本ユニシスと京セラコミュニケーションシステム(KCCS)は、変更管理ソリューション「Tripwire(トリップワイヤ)」の販売における協業を開始します。最近のセキュリティ事故に例を見るように、Webサイトのセキュリティ維持は企業経営の必須要件であり、意図しない改ざんなどを瞬時に検知するソリューションが求められています。日本ユニシスはKCCSと協業し、情報セキュリティサービスシリーズ「iSECURE®」のラインナップに変更管理のリーディングソリューション「Tripwire」を本日より追加、「iSECURE Tripwire」として販売開始します。</p>
18	6月7日	<p>クラウド型電子図書館サービス「LIBEaid/ライブエイド™」を販売開始</p> <p>～ 地域で電子書籍、デジタルコンテンツの活用を実現するICTサービス ～</p> <p>日本ユニシスは、全国の地方公共団体や学校、企業向けにクラウド型電子図書館サービス「LIBEaid/ライブエイド」を販売開始します。「LIBEaid」は、電子書籍などのデジタルコンテンツを実物の本と同じように貸し出せる電子図書館を、インターネット上に開設できるサービスです。行政機関や学校、企業は、本サービスを利用することで、それぞれの目的に合わせたデジタルコンテンツを利用者(市民、児童、顧客など)に貸し出すことが可能になります。また、利用者は、事前に登録すればインターネット経由で自宅のPCやモバイルPCから無料で閲覧できます。「LIBEaid」で提供されるデジタルコンテンツは、暗号化処理やPC上にデータを残さない仕組みなどのDRM機能で保護されており、著作権管理が必要な電子書籍にも対応しています。あわせてワープロソフト感覚で簡単に電子書籍を作成できるツールを提供します。</p>
19	6月16日	<p>IaaSサービスに新ラインアップ、「ICTファイル共有サービス」と「ストレージクラウドサービス」の提供開始</p> <p>～ 独自ネットワーク技術を活用した、柔軟なストレージ環境を実現 ～</p> <p>日本ユニシスは、IaaSサービスの新しいラインナップとして、お客さまのイントラネットの延長としてストレージが利用できる「ICTファイル共有サービス」を7月1日から提供開始します。日本ユニシスは従来から、サーバー、ストレージ、ネットワークのリソースを月額利用できるIaaSレイヤ(層)のクラウドサービス「ICTホスティングサービス」を提供していますが、今回提供の「ICTファイル共有サービス」は、ストレージのみを利用したいという要望に応じた新しいサービスとなります。併せて、IaaSレイヤへの新たな付加サービスとして「ストレージクラウドサービス」の提供も同時に開始します。</p>
20	6月17日	<p>日本ユニシス・エクセリューションズ 業界初 住宅CADをクラウドで提供開始</p> <p>～ SaaS型3次元CADにより、中小工務店や設計事務所など住宅業の業務効率アップを最小限のコストで実現 ～</p> <p>日本ユニシス・エクセリューションズ(UEL)は、クラウド(SaaS)型の住宅設計3次元CADシステム「Net-DigiD™」を、日本ユニシスが保有するICTサービス基盤上で8月1日から提供開始します。「Net-DigiD」は、従来主に2次元CADを利用してきた中小工務店や設計事務所に対して、3次元CADとして図書の整合性や必要な数量情報を提供します。「Net-DigiD」では、内部的に3次元の家モデルを持つという考え方に基づきすべての出力図書の整合性を保つとともに、関連する情報や図書を一元管理するため、整合性のとれた各種申請図書を短時間で作成することが可能です。またSaaS型としてサービス提供することで、ユーザーはダウンロードやバージョンアップなどシステムの導入・運用作業から解放され、常に最新の機能をすぐに利用できます。従来のパッケージ購入型と異なり、1棟ごとの料金体系(従量制課金)で提供するため、最小限のコストで全体業務の効率アップを図ることができます。</p>

発表日		内 容
21	6月22日	<p>日本ユニシス、佐賀大学「医療の質」と「効率の質」の両立を目指し、国内初、新しいDPC管理会計システムをクラウド型サービスで提供開始</p> <p>～ 病院経営の見える化を支援するICTサービス ～</p> <p>日本ユニシスと佐賀大学は、高水準な病院経営を維持するための新しい管理会計の仕組みであるDPC管理会計システムについて共同研究し、クラウド型サービスとして、本日から提供開始します。平成15年から、医療の行政改革により、急性期病院では、入院医療費の請求方式を従来の「出来高払い方式」から、「診断群分類(DPC)包括評価に基づいた定額支払い方式」へ急速に移行しています。これに伴い、病院には原価管理に基づく健全な病院運営が求められており、安定した経営基盤への転換が急務であると考えられています。このような背景から、佐賀大学は「質の高い医療を効率的に提供する」ことを目的に、本システムを佐賀大学医学部付属病院にて独自に開発しました。本システムは、クラウド型サービスとして提供するため、病院はシステム導入時の初期費用は不要です。本サービスの月額料金は、ソフトウェア使用料、データセンター使用料、サーバー、運用費などを含めて、月額9万円(税別)からです。</p>
		
22	6月23日	<p>物流アウトソーサーとの協業により物流サービスビジネスを拡充</p> <p>～ エヌ・ティ・ティ・ロジスコと協業し、「PSIシミュレーションテンプレート for MiningPro21®」をベースに在庫管理・在庫診断サービス提供開始 ～</p> <p>日本ユニシスは、物流アウトソーサーとの協業により、物流サービスビジネスの拡充を図ります。第一弾としてエヌ・ティ・ティ・ロジスコ(NTTロジスコ)と協業し、同社の在庫管理ソリューションシステムを構築するとともに、平成22年6月より物流業や企業の物流部門などの荷主に向けた在庫管理・在庫診断サービスを提供開始しました。今回提供開始する在庫管理・在庫診断サービスは、日本ユニシスが提供する物流倉庫を基点としたモノの流れ(P:Production 生産、S:Sales 販売/出荷、I:Inventory 在庫)を捉えるためのソリューション「PSIシミュレーションテンプレート for MiningPro21®」と、NTTロジスコが物流アウトソーサーとして培ってきた在庫管理・分析に関するノウハウを融合させることによって、荷主に出荷予測、在庫補充計画、在庫圧縮シミュレーションなどをアウトソーシングサービスとして提供するものです。「PSIシミュレーションテンプレート for MiningPro21」は、日本ユニシスのMiningPro21を採用し、多様なパターンで精度の高いシミュレーション計算を実現します。この計算にもとづく在庫管理・在庫診断をアウトソーシングサービスとして利用することで、荷主は最小限のコストで過剰在庫や欠品の抑制、発注作業の効率化などが可能になります。</p>
23	6月28日	<p>多摩信用金庫からリスク管理システムを受注</p> <p>～ 今後信用金庫業界にリスク管理システムを拡販 ～</p> <p>日本ユニシスと当社の子会社であるエイファスは、多摩信用金庫からリスク管理システムを受注しました。都内大手信用金庫である多摩信用金庫では、従来より日本ユニシスのバンキングリスク管理(ALM)システムおよび店別収益管理システムを活用し、リスク管理・収益管理を進めてきました。今後の課題として全資産・負債の管理システム一元化や市場部門の運用資金拡大に備えた市場リスク・収益管理の更なる高度化を図るため、次期リスク・収益管理システムを検討した結果、このたび日本ユニシスおよびエイファスのシステムを新たに採用することを決定しました。採用されたシステムは、日本ユニシスの「ValueStage®-NE/LC(ラダー・キャッシュフロー生成)」、「ValueStage-NE/PM(収益管理)」と、エイファスの「Skipper®(市場取引・リスク管理)」、「SkipperBanking(バンキングリスク管理)」です。</p>
24	6月29日	<p>ユニアデックス、ミラクル・リナックス 国内初、「CentOS」に関するハードウェア/ソフトウェア一括保守サービスで協業</p> <p>～ IBMサーバー向け 24時間365日の一括保守で、TCOを削減 ～</p> <p>ユニアデックスとミラクル・リナックスは、無償のLinux®基本ソフトウェア「CentOS」とIBMのx86サーバーの組み合わせに対する保守に関する協業を開始し、ユニアデックスは、国内で初めてハードウェア/ソフトウェア双方に対する24時間365日の一括保守サービスを、7月1日から提供開始します。これにより、ユーザーは企業において採用が広がる「CentOS」と、可用性・信頼性に優れ運用も容易なIBMのx86サーバー(IBM System x®, IBM BladeCenter®)の組み合わせを安心して利用できるようになります。保守料金は「CentOS」と同等機能を有する他のソフトウェア保守の最大60%の低料金に設定しており、ハードウェアとの一括保守のメリットとあわせて企業的大幅なTCO削減に貢献します。</p>
25	7月8日	<p>NTTコミュニケーションズのOCN向け「One To Oneメール配信プラットフォーム」を稼働開始</p> <p>～ 国内最大規模のOne To Oneメール配信基盤を構築 ～</p> <p>日本ユニシスは、NTTコミュニケーションズ(NTT Com)向けに新メール配信システムを構築し、本年4月から全面稼働しました。本システムは、OCNの800万ユーザーを対象として、メールを配信する国内最大規模のOne To Oneメール配信基盤であり、今後、NTT Comが提供する他サービスでの活用も予定しています。今回実現するメール配信能力100万件/時は、国内最高水準の能力を誇るメール配信システムです。本システムは、NTT Comのデータウェアハウスと情報連携を行い、抽出条件に応じた配信リスト作成、メールコンテンツの作成、自動メール配信、配信結果の効果測定などのメール配信における一連の業務プロセスのシステム化を実現しています</p>
26	7月16日	<p>信金アウトソーシングセンターがITサービスマネジメントシステム「ISO20000」取得</p> <p>～ 信用金庫向け勘定系共同利用型アウトソーシングセンターの運営品質をさらに向上し、地域のニーズに即応したきめ細かいサービス提供 ～</p> <p>日本ユニシスは、当社が運用する北海道信金アウトソーシングセンター(北海道センター)および信金バンキングアウトソーシングセンター(SBOC東京センター)において、ITサービスマネジメントシステムの国際規格であるISO20000の認証を取得しました。信用金庫向け勘定系システムの共同利用型アウトソーシングセンターとしていち早く認証取得することで、国際規格に準拠した高品質なITサービスを継続して提供し、さらなる運営品質向上を目指します。当社は、信用金庫のビジネスモデルに即した競合力のある勘定系共同利用型アウトソーシングセンターとして、平成15年1月に北海道OSセンター、平成17年1月にSBOC東京センターを稼働開始し、次世代勘定系システム「SBI21」の共同利用型サービスを提供しています。当社の共同利用型アウトソーシングセンターの特徴は個々の信用金庫の経営環境や地域に根ざしたきめ細かいサービスやシステムをタイムリーに提供することで、システム自営型の信用金庫に相当する独自性の高いシステムを、共同利用型ならではの高いサービス品質と両立して提供しています。</p>

発表日		内 容
27	7月16日	北海道信金アウトソーシングセンターで「為替アウトソーシングサービス」稼働開始 <p>～ 信用金庫のIT投資最適化と業務変革を支援する、新たな総合アウトソーシングサービスの第一弾 ～ 日本ユニシスは、当社が運用する北海道信金アウトソーシングセンター内に、信用金庫の後方事務を集中処理する「事務集中センター」を開設し、為替振込におけるエントリー事務のアウトソーシングサービスを提供開始しました。同センターは、信用金庫向け勘定系システム分野の先駆的な共同利用型アウトソーシングセンターとして平成15年1月より稼働開始し、北海道内6信用金庫（札幌信用金庫、室蘭信用金庫、空知信用金庫、苫小牧信用金庫、北海信用金庫、旭川信用金庫）向けに、次世代勘定系システム「SBI21」の共同利用型サービスを提供しています。このたび、この実績あるインフラをベースに、営業店の後方事務を集中処理し、業務効率化とIT投資最適化を支援する「事務集中センター」を開設し、特に繁忙格差があり要員負担の大きい為替エントリー事務を受託する「為替アウトソーシングサービス」を提供開始しました。本サービスは、信用金庫における営業店の後方事務レス化の推進と、営業店の「事務」拠点から「営業」拠点への変革を支援する、新たな信用金庫向け総合アウトソーシングサービスの第一弾です。</p>
28	7月20日	日本ユニシス・サプライ、ココヨS&T、帳票配信サービスをクラウドで提供開始  <p>～ 請求書、発注書など帳票類の配信を、SaaS型のクラウドサービスとして提供「紙から電子帳票まで」のワンストップサービスにより帳票配信業務の全体最適化とコスト削減を実現 ～ 日本ユニシス・サプライは、さらなるサービス拡充に向けてココヨS&Tと協業し、請求書や発注書など企業が社内外に向けて発行する帳票類の配信をSaaS型サービスとして本日から提供開始します。既存のプリントBPOサービスと組み合わせ、「紙から電子帳票まですべて」ワンストップサービスとして提供します。日本ユニシス・サプライは、同社のSaaS型サービス「@Tovas」を利用した帳票のPDF送信、FAX送信、およびWEB-EDIまで含めた帳票配信サービスをクラウドで提供開始します。これにより、紙から電子帳票までを含めた帳票配信の「ワンストップ化」を実現し、郵送、FAX、データ送信という配信手段ごとにデータや業務を切り分けることなく、効率的な帳票配信が可能となります。</p>
29	7月21日	SaaS型 教育プラットフォーム「LearningCast®」アップデート3提供開始  <p>～ グローバル企業の教育・人材育成業務で、より使い易く ～ 日本ユニシスは、教育プラットフォーム「LearningCast」アップデート3の提供を本日から開始します。LearningCastは、SaaS型で教育プラットフォームを提供するサービスです。集合研修管理からeラーニング研修管理まで、企業における研修業務を幅広く支援します。アップデート3は、アップデート2で追加した英語メニュー対応に加え、最新のSCORM規格への対応や、外部システムとの連携機能の拡張、契約者ごとの画面のカスタマイズ機能の拡張、利用者のユーザビリティ向上などの機能拡張により、多様な利用形態を持つグローバル企業の教育・人材育成業務の場面でより使い易くなりました。</p>
30	7月22日	知的財産事業でBtoC型インターネット販売を開始  <p>～ 著作権、特許権の価値がわかる「知財」のプロを目指そう ～ 日本ユニシスは、当社が開設した知的財産関連のコンテンツを提供する知財力UPサイト「iPowerStation™」の個人向け販売をインターネット上で本日から開始します。日本ユニシスは、昨年4月にiPowerStationを開設し、12月から法人向けに、知財人材の育成に活用する「知財人材スキルマネジメントICTサービス」を提供しています。このたび、「iPowerStation」のスキルチェック／スキルアップや知財コラム閲覧などのコンテンツを利用できる個人向けのサービスをインターネット上で販売します。これにより、個人のお客さまは、日本ユニシスのウェブサイトからオンラインでの注文・課金・契約が可能になります。</p>
31	8月4日	ユニアデックス、SaaS型情報共有基盤サービス「NeXtCommons®」を前橋市立73校などに提供開始  <p>～ 学校ホームページ作成を簡単にするテンプレートにより、ホームページデザイン統一、教職員の管理負荷を軽減し、保護者とのコミュニケーションを促進 ～ ユニアデックスは、群馬県前橋市教育委員会が運営する前橋市教育情報ネットワーク（Maebashi Educational NETwork 「MENET」）に接続する市立学校73校（小学校49校、中学校22校、特別支援学校1校、高等学校1校）に、SaaS型情報共有基盤サービス「NeXtCommons」の提供を開始しました。「NeXtCommons」は、学校のホームページ作成が簡単に行え、生徒・教師間の情報提供や共有、また保護者への情報公開などを容易にする基盤を、SaaS型で提供するサービスです。高いセキュリティを備えた日本ユニシス株式会社が提供するICTサービス基盤を利用して運営しています。</p>
32	8月17日	電気自動車向け充電インフラビジネスでエネゲートと連携   <p>～ 両社のシステム連携により、1枚の利用者カードで充電スタンドの相互利用を実現 ～ 日本ユニシスは、エネゲートと電気自動車向け充電インフラビジネスで連携します。両社は共同で、利用者にとって利便性の高い「充電インフラシステム」を構築し、本年12月より、大阪、京都など関西エリアへの展開を始めとし、全国への展開を開始します。このたびのエネゲートとの連携は、関西電力グループ企業としてスマートメーターやエネルギー・マネジメントシステムの開発など、高度な技術とノウハウを有するエネゲートが開発、展開する電気自動車向け給電システム「エコQ電®」と「smart oasis®」とのシステム連携、両社共同でのサービス拡充と販売展開を主としています。</p>
33	9月1日	ユニアデックス「ZOZOTOWN」運営会社スタートトゥデイに「クロスビームXシリーズ」を導入 <p>～ 通信事業者以外で国内初の導入事例、アクセス集中時の遅延解消、運営の効率化を実現 ～ ユニアデックスは、高速スイッチやファイアウォール、ゲートウエイなどのネットワークセキュリティ機能をひとつの筐体に包含した、国内初のセキュリティ・オールインワンパッケージ「クロスビームXシリーズ」を、スタートトゥデイに導入しました。スタートトゥデイは、国内最大級のファッションに特化したインターネットショッピングサイト「ZOZOTOWN」を運営しており、本年6月25日から始まったセールにおいて膨大な集中アクセスを、「クロスビームXシリーズ」で設定した5Gbps（スペック上の最大速度は10Gbps）のスピードで遅延なく処理することに成功しています。</p>

発表日		内 容
34	9月9日	<p>クラウド型「無事故プログラムDR®」サービスに、“アルコールチェッカーサービス”をオプションとして販売開始</p> <p>～「飲酒運転等の規制改正」に対応した3つのサービスで、飲酒運転ゼロを支援～</p> <p>日本ユニシスは、平成22年4月28日に国土交通省から発表された「旅客自動車運送事業運輸規則及び貨物自動車運送事業輸送安全規則の一部を改正する省令並びに関係通達の改正について」の趣旨である、事業用自動車の飲酒運転ゼロの目標達成を支援する「アルコールチェッカーサービス」を本日から販売開始します。本サービスは、2009年7月から提供しているドライブレコーダーを活用したクラウド型「無事故プログラムDR」サービスのオプションとして提供します。</p> <p>本サービスは、飲酒運転等の規制改正を踏まえ、事業用自動車を保有する事業者のニーズをもとに、「アルコールチェッカー単体提供サービス」、「クラウド型IT点呼サービス」、「クラウド型なりすまし防止サービス」の3つのサービスを用意しています。これらのサービスにより、事業者は、簡単に事業所内や車内でのアルコール検査を実施することができます。さらに、アルコールチェッカーを日本ユニシスのデータセンターと連携させることで、検査記録の自動保存や検査時画像データを活用したなりすましの防止を図ることもできます。</p>
35	9月24日	<p>SaaS型 国内初の「手形管理システムサービス」を提供開始</p> <p>～第1号ユーザーとして信金中央金庫で採用 堅牢なデータセンター設備、安全なシステム基盤を利用しながら金融機関の事務コストを削減～</p> <p>日本ユニシスは、全国の地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合、農協関連などの金融機関向けに、SaaS型「手形管理システムサービス」を10月1日から提供開始します。手形管理業務のうち、手形交換業務、手形期日管理業務、手形Web照会業務向けに開発・提供しているパッケージのシステム基盤をベースに国内で初めて手形管理システムをSaaS化しました。「手形管理システムサービス」は実績豊富なパッケージをベースとしたSaaS型サービスのため、ユーザーはシステム導入の手間とコストを軽減して必要な業務サービスをすぐに利用でき、事務センターにおけるITコスト削減を図ることができます。第1号ユーザーとして信金中央金庫が手形交換システムにて本サービスを採用することを決定し、本年12月に本番稼働を予定しています。信金中央金庫は「信用金庫の中央金融機関」であり、今回の手形交換システムは16信用金庫から受託しています手形交換業務に利用するものです。</p>
36	9月24日	<p>日本ユニシス、電通、MITメディア・ラボが協働で、「空気が読めるコンピュータ」の実現に向けたプロジェクトを開始</p> <p>～ ユーザ参加型プログラムで『コモンセンス』を収集し、データベース化と活用を図る ～</p> <p>日本ユニシスと電通とMIT（米国マサチューセッツ工科大学）メディア・ラボは協働で、「空気が読めるコンピュータ」の実現に向けたプロジェクトを本日から開始します。本プロジェクトは、わたしたち人間がコミュニケーションを図るときの前提として共有している、常識的な背景知識や感覚（コモンセンス）をデータベース化し、コンピュータシステムに活用することで、ゆくゆくは「適切な時に適切な知識・言葉を使える、人間のように空気の読めるコンピュータ」の実現を目指します。また、本プロジェクトを推進するのは、特定の研究者や研究室だけでなく、一般の皆さまにも楽しんで参加していただきながら創り上げる、ウィキペディアのようなユーザ参加型のクラウド・ソーシングにより推進していきます。</p>
37	9月29日	<p>岡三情報システムと日本ユニシスが共同で次世代証券基幹系システム「ODIN」の販売・業務受託を開始</p> <p>～ 将来のクラウド化も視野に入れて、証券会社の業務効率化、省力化、営業力強化を支援するアウトソーシングサービスを提供 ～</p> <p>岡三情報システムと日本ユニシスは、共同で次世代証券基幹系システム「ODIN」の販売・業務受託を開始します。「ODIN」は、岡三情報システムと日本ユニシスが共同で開発した次世代型の証券基幹系システムです。基盤の構築は日本ユニシス、アプリケーションの構築は岡三情報システムが担当しました。「ODIN」の開発に当たっては、証券会社における組織構造や業務フローなどを徹底的に分析した上で、情報システムに求められる機能を再設計しました。証券会社のフロントサービスから、バックオフィス機能、営業支援機能まで、豊富な機能から必要なものを選んで利用するため、証券会社それぞれのニーズに合わせた業務効率化が可能です。また従来、ホスト基盤で運用してきた証券基幹システムを、Windowsベースのオープンシステムで構築したことにより、システムのレスポンスや拡張性、柔軟性の飛躍的な向上を実現しました。「ODIN」は2010年6月に岡三証券株式会社の基幹システムとして本格稼働を開始しており、9月現在、全国14証券会社の基幹システムとして利用されています。</p>
38	9月30日	<p>ユニアデックス、日本ユニシス アプリケーションプロバイダー向け「AP配信サービス」を提供開始</p> <p>～ 販売・流通コストの削減とライセンス管理も容易に ～</p> <p>ユニアデックスと日本ユニシスは、アプリケーションプロバイダー向けに、インターネットを介したアプリケーション配信とライセンス管理を行う「AP配信サービス」を、10月1日から提供開始します。クラウドコンピューティングの普及に伴い、アプリケーションプロバイダーにおいては、既存のアプリケーションをSaaSとして提供したいと言うニーズが高まっています。しかし一般的にアプリケーションをその操作性を維持したままWeb化することは、技術・コストの両面から実現が困難でした。「AP配信サービス」では、アプリケーションをWeb化することなしに、インターネットを介してサービス提供することができます。またライセンス管理も合わせて行われるため、月額課金型のサービス提供も可能となります。本サービスは、日本ユニシスが提供するクラウドサービス上で、配信ソフトを使用してユニアデックスが独自に開発しており、インターネット回線の種類を問わない環境へのアプリケーションの配信サービスとしてはわが国で初めてのものとなります。</p>